

番号	氏名	抱負
151	谷川 琢海	これまで医療情報分科会および北海道部会医療情報専門委員会で活動を行なって参りました。浅学の身ではありますが、放射線技術学の発展に少しでも貢献・寄与できるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。
152	田野 政勝	現在私は、国家公務員共済組合連合会虎の門病院で放射線部技術担当副部長(技師長)を拝命し、放射線部の管理、運営に携わっている。以前は院内の電子カルテ、放射線部内のRIS、PACSの導入に携わって来た。そして現在ではDICOM情報、RISを使用した患者被ばくの管理の研究を行っている。私が平成27年度・28年度の代議員に当選したら、現在研究している医療情報の分野で日本放射線技術学会の発展に貢献できるよう努力するものである。
153	丹喜 信義	これまで大学および研究所に籍を置き研究に従事してきた知識と経験を活かして、日本放射線技術学会が研究に取り組みたいと考えている診療放射線技師や関連分野の研究者・学生にとって、より魅力のある学会へと発展するために微力ながら貢献できればと考えております。
154	丹治 一	本学会ならびに地方部会の学術活動に微力ながら貢献したいと思います。
155	千田 浩一	日本放射線技術学会の発展に貢献する所存であります。特に、放射線技術学における、教育充実や研究の推進などについて寄与したいと考えております。
156	千田 真大	私は10年にわたり東京部会の運営に携わってきました。また、第66回東京部会春期学術大会の実行委員長を務めました。今後も東京部会運営に携わりながら、学会運営の円滑な遂行と発展のために微力ながら最善の努力を尽くしたいと思い代議員に立候補いたしました。
157	蝶野 大樹	今後の放射線技術学の発展のために少しでも貢献したいという思いと、北海道部会の意志を可能な限り伝えたいという思いから代議員に立候補しました。よろしくお願いいたします。
158	塚本 篤子	この度代議員に立候補しました東京部会所属NTT東日本関東病院の塚本篤子です。現在、放射線防護分科会・プログラム委員会・教育委員会の委員をさせていただいています。私のできる事は微力ではありますが、これからの日本放射線技術学会のため、自分のできることを協力させていただきたいと考えています。よろしくお願いいたします。
159	辻 真太郎	日本放射線技術学会の発展のためには会員一人一人が「学会を良くするためには何をすべきか」ということを考える必要があると思われます。そのためには、本部と各地域の連携を強化する必要があると思えます。つまり、本部が心臓ならば、代議員は各臓器へ血液を循環させる血管の様な関係ですので、私が北海道の代議委員に選出された際には、北海道のみならず熱い思いと勢いを本部の方へお伝えしたいと考えています。
160	辻岡 勝美	私にとって日本放射線技術学会は一番重要な学会です。現在、大学生や大学院生、若手の放射線技師の研究指導を行っており、彼らの国際学会への参加、論文執筆も進めております。対外的にもアジアやヨーロッパ、北米の研究者との交流も行って来ました。これからも日本放射線技術学会の国際化に協力していこうと考えております。よろしくお願いいたします。